

# 障害者共生 大切さ訴え

高梁川流域10市町の住民に障害者への理解の輪を広げようと、「高梁川流域くらしきフォーラム実行委」（倉敷地域自立支援協議会と倉敷市、早島町、川崎医療福祉大）は、支援者や家族らがそれぞれの立場で共生社会の大切さを伝える番組を制作している。11月22日～来年1月31日に動画投稿サイト「YouTube」とラジオを通じて発信する予定。（山内悠記子）

「くらしきフォーラム」は、療福祉学科の直島克樹講師と岡市町の行政と障害者支援団体 淵泰子講師が司会を務め、各10などが連携して2005年にスタートしたイベント。その後、23日、同大川崎祐宣記念講堂流域自治体にエリアを広げ、毎年、実行委が催しや講演会を企画してきた。しかし、新型コロナウイルス禍で昨年はイベント

## くらしきフォーラム実行委

### 番組、来月から配信

を中止し、FMくらしきと連携も多くなると時代の変化したラジオや動画配信に切り替えた。

今年度の番組には、知的障害がある弟を持つ岡山県住みます芸人の江西あきよしさん▽発達障害のある女性▽児童発達支援もくもく（倉敷市沖新町）の佐藤麻耶さん▽就労支援に携わるNPO法人くらげ（同市中庄）の中尾界渡理事長▽倉敷市障がい福祉課職員2人―が出演。同大

31日、YouTubeでの配信を

予定している。

実行委事務局を務める倉敷地域基幹相談支援センター（同市浜町）の大西千尋さんは「日ごろ触れる機会が少ない障害者の暮らしの実態を知る契機になれば」と視聴を呼び掛けている。問い合わせは、同センター（086-486-3500）。



対談番組の収録で、知的障害がある弟との暮らしや兄としての思いを語る江西さん（右）